

# アジール じんげん asile

P1-2

一楽 真 新学長メッセージ  
学びの意欲に  
灯をつけたい

春夏号  
2022  
大谷大学広報誌

P3-5

4月開設 情報メディアコース

地域をメディアで  
盛り上げる

# 学びの意欲に灯をつけたい

大谷大学で学び、教員として本学と関わり続けた一楽真教授。新学長への就任に際して、今後の大学としてのビジョンと学生へのメッセージを語っていただきました。



## 時代を問わず、軸となるのは人間教育

私が大谷大学で学んでいた1970～80年代は、僧侶を目指す学生の割合が今よりも多く、僧衣を着た学生が構内を歩く光景も珍しくありませんでした。それが今では約3,200名規模の大学へと成長し、さまざまな学びを求める学生で活気づいています。時代とともに変化するのはいいことです。1901年に開学した大谷大学が、現在のように「文学部」「社会学部」「教育学部」「国際学部」の4学部制となったことも、新たな時代を見据えて大学のあり方を見つめ直した結果といえるでしょう。

では、大谷大学の存在意義とは何でしょうか。複数の学部を設けて、多様な学びを提供することでしょうか。社会で役立つ人物を育てるためでしょうか。もちろんそういった側面もありますが、大谷大学が開学以来、一貫して大切にしているのは「生きていくよりどころを尋ねる」学びであり、主体的に生きる自己を築くための「人間教育」です。

## 「問い」とは 既成概念を取り外すこと

「人間教育」に決まった答えはありません。その人自身が日頃から感じていることを見つめ直したり、これからの人生を考えたりするための「生きた学問」です。見つめ直すと云われても、自分の生き方に自信のある人は、ほっといてくれと思うでしょう。ただ、その「生き方」が問題なのです。

人が見ている現実とは、往々にしてそれぞれが持つフィルターを通して解釈された現実です。そのフィルターを外すために、大谷大学では教育理念である仏教精神を通して、学生一人ひとりに

「今、見ている現実とは真実でしょうか」と問いかけてみます。仏教の教えといっても、特定の教義を覚えてもらうわけではありません。今を生きるヒントだとして、とらえてください。親鸞をはじめとする先人の言葉には含蓄があり、心に残るものです。日々のニュースやSNSで発信される情報過多の現代社会において、物事を考える礎となるでしょう。普段から持ちあわせている既存の価値観を疑う「問い」がなければ、新しい未来は見えてきませんからね。

## 急いで答えを出さないほうがいい

このような大谷大学の人間教育の考えを示す言葉が「Be Real」——「寄りそう知性」です。「Be Real」とは現実であり、その先にある真実でもありません。そして「Real」を知るからこそ、他者に寄り添うことができるのです。そんな人間として育ってほしいという願いが込められています。大谷大学では、このメッセージを10年後の近代化130周年に向けて策定した大谷大学第2次中期プラン「グランドビジョン130（2022～2031）」の核に据えました。行き詰まったり壁にぶつかったりすることで、大事なことに気づくのが人間です。教職員がそれぞれの価値観を押しつけるのではなく、学生一人ひとりが成長する機会を失わないように、相互関係を築いていこうと考えています。だから安易に答えを示したり、近道を教えたりはしません。皆さんが答えを出すまで待つ姿勢を大事にしていきます。

ところで「Be Real」——「寄りそう知性」というメッセージが、仏教用語の「智慧」と「慈悲」を言い換えたものだというと驚きませんか？「智慧」には真実を知り、現実を明らかにするという意味があり、

「慈悲」は寄りそう精神を示しています。

## チャレンジする勇気を 持つるようにつくる

さて、学生の皆さんにお願いがあります。「失敗を恐れず、果敢にチャレンジすること」をいとわないでください。そして自らの可能性を狭めないでください。「失敗したらどうしよう」と萎縮してしまうのは、社会の風潮かもしれませんが、大谷大学では皆さんのチャレンジを応援します。失敗は単に失敗に終わりません。間違ってもいいんです。必ず道はあります。人から言われてやらされることだと、それが遊びであってもイヤなものです。やりたいことなら、苦労してもやりたい。それが人間です。大事なのは、心に灯がつくことです。いろんな人に会ったり、課題にとことん向きあったり、自分の中にある「問い」を大切にしましょう。求めなければ出会えないのが「Be Real」です。皆さんと学びあえる場の創造に向けて、大谷大学も挑戦し続けます。



### Profile

大谷大学 学長  
一楽 真  
Ichiraku Makoto  
専門分野  
真宗学  
日本仏教思想  
親鸞研究

1957年、石川県小松市生まれ。大谷大学大学院文学研究科博士後期課程(真宗学専攻)満期退学。文学博士。大谷大学准教授などを経て、2009年に文学部教授。前仏教教育センター長。2022年4月より第29代学長に就任。

社会学部  
コミュニティデザイン学科  
鈴木 寿志 教授

社会学部  
コミュニティデザイン学科  
第4学年  
石田 敦輝 さん

社会学部  
コミュニティデザイン学科  
第3学年  
廣内 たま美 さん



DISCUSSION ABOUT OTANI

4月開設 社会学部 コミュニティデザイン学科  
情報メディアコース

# 地域を メディアで 盛り上げる

4月から新たにスタートする「情報メディアコース」では、地域課題解決のために情報通信技術（ICT）の活用を学びます。そこで今回は、コミュニティ・ラジオ、映像メディア、WEBメディアなどの活動に関わるお二人の在学を迎え、ゼミでの活動や、どのような学びが得られるのか伺いました。



## ラジオと動画と音楽と

**鈴木** 新たにスタートする情報メディアコースでは、さまざまな情報手段を駆使して、地域とつながる学びを展開していきます。メディアを活用した取り組みを実践するお二人は、ゼミでどのような活動をしているのでしょうか。

**廣内** 私は赤澤清孝先生のゼミで制作している「大谷大学 ハッピーアワー」というラジオ番組に、パーソナリティとして携わっています。大学の隣にスタジオがあって、そこで毎週木曜の19時から50分間、生放送しています。

**石田** プレッシャーの大きな役割ですね。

**廣内** 毎回ゲストをお招きするので、事前に情報収集をしてインタビュー内容を固めるのですが、本番は決して台本通りに進行するわけではないので、話の流れにあわせて質問を考えないといけないのが大変です。

**鈴木** 生放送だと臨機応変に対応する柔軟性が身につきますね。石田さんはいかがですか？

**石田** 僕は松川節先生のゼミで、地域の活動や魅力を発信するために、動画の制作に取り組んでいます。ビデオカメラで撮影して編集するほかに、映像に使うロゴや写真といった、編集段階で必要となる素材をイラストレーターやフォトショップで作ります。いわゆるDTP、パソコンでのデザイン制作です。動画に入れるサウンドも自分たちで用意します。

**鈴木** お二人とも、プロのお仕事のようなことをされているので感心します。

## 好きなことを生かして学ぶ

**鈴木** ラジオではどのような方をゲストに迎えるのでしょうか。

**廣内** 大谷大学のある京都市北区で活躍されている方です。私が放送した時は、大宮交通公園にあるコンズサイクルという自転車店の店長に来ていただき、お店の紹介をしてもらいました。

**鈴木** そこで地域とのつながりが生まれているんですね。ラジオパーソナリティを務めるとなると、やはり選曲もするのでしょうか。

**廣内** 紹介するゲストに合わせて、学生が選曲しています。コンズサイクルの店長が来られた時は、「自転車」という言葉が歌詞に入っている曲を流しました。世の中にある膨大な曲の中から、これという曲を探すのは大変な作業ですが、元々、音楽やラジオが好きなので楽しみでもありますね。

**鈴木** 石田さんも動画に入れるためのサウンドを準備されるということでしたが、いかがでしょうか。

**石田** 動画に入れる「音」は、自作することが多いです。ギターとベースは自分で弾いて録音し、効果音やシンセサイザー、ドラムの音を入れるときと、ひとつの曲に編集するときはソフトウェアを使います。

**鈴木** すげいですね。楽器も弾けるのですか。

**石田** はい、僕も音楽がずっと好きで、バンドもやっています。

**鈴木** お二人の興味が、ゼミでの学びに役立っているようにですね。

# OUR TEACHER

— 私たちの先生 —

社会学部コミュニティデザイン学科の酒井先生のゼミ生4名に、ゼミでの内容や酒井先生の人柄について紹介してもらいました。



社会学部  
コミュニティデザイン学科  
准教授  
**酒井 恵光**

Sakai Eiko  
1967年石川県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程満期退学。修士(学術)。2006年に大谷大学文学部着任。

## やさしく見守り、困った時にフォロー。気づきを大事にする先生です。

「パソコンやスマートフォンが便利なのはなぜか」「だれが必要な情報を得たり、気軽に他者とコミュニケーションをとれたりするのはなぜか」。そんな利便性を向上させてきた、情報処理における「ユーザーインターフェイス※」を研究するのが酒井ゼミです。ゼミ指導では理論だけでなく実践的な理解を重視していて、第1学年の時はスクラエディタというツールを使ってウェブページを作成。またブレNDERというCG作成ソフトを用いて3Dグラフィックを制作するなど、ゼミ生自らプログラミングを行い、その経験を通して「人に伝える」思考を学んでいます。みんなプログラミングは初めてでわからないことも多く、そのたびに自分でコードを調べ、書き換える作業の繰り返しでしたが、試行錯誤して学んだ経験は、自ら課題解決することの喜びにもつながりました。

いろいろ調べてもうまいかない時は、酒井先生に質問。「わからなくて、ひっかかるのがいい。はじめからやり方を教えられて得る知識と違って、体験して理解し、使える知識にすれば、ずっとその人の力として残ります」。仮想世界を作って自分で動かしてみるなど、やればやるほどいろんな可能性が広がるのが楽しみ。社会学部の学生として、社会との関わりを考えながら、さまざまな視点を取り入れてさらに学びを広げていきたいです。

間でもあります。失敗した経験は、実に多くのことを教えてくれます。ソフトウェアやコンテンツなどの制作で、思ったとおりにならない、うまくいかないという経験を何度もすると。ぜひ、いろんなやり方や考え方を試して、失敗してみてください。操作法や知識そのものは、往々にして時間とともに古くなりますが、失敗や再試行から得られるいろいろな考え方は、長きにわたって自分の支えになってくれるはずですよ。

自分が学生である間はなかなか気付かないのですが、学生時代というのは貴重な時間です。学ぶということを、「やらねばならないこと」と考えてしまうと、つらさが先に立ちますが、学びに大半の時間を割くということは、実は今くらいしかできません。学びから得たものは、その後の自分を作る基礎になります。また、自分が学んだことは、誰かに奪われることのない財産になります。そして、学生時代は、失敗するという経験をしやすい期

※ユーザーインターフェイス (User Interface) : ユーザーと商品・サービスをつなぐ接点となる場所。スマートフォン上のアプリケーションの操作性やデザイン性などが該当します。

## 社会学部コミュニティデザイン学科の私たちが紹介しました!



先生からのメッセージ

# DISCUSSION ABOUT OTANI

## みんなで取り組み、活動を広げる

**鈴木** 動画もラジオも、同じゼミの仲間とはどのように取り組んでいるのでしょうか。

**石田** 動画制作をする際は、役割を細かく分けています。企画やシナリオ、撮影、編集、DTP、音楽とさまざまなジャンルがあり、すべてのメンバーが連携しないとできません。僕たちのゼミは団結力が高く、うまく回っています。

**廣内** 私たちのラジオに取り組みメンバーも、みんな仲が良いです。パーソナリティのほかに、放送時の音量やコーナーなどの切り替えを行うミキサーがいて、メンバー間での役割分担がきちりできていますから、スムーズに放送できています。

**鈴木** そのようなチームワークは、なぜ生まれたのでしょうか。

**石田** 実際に制作を進めるにあたって、だれが何を担当するかを決める時に、各自が自分の得意分野を挙げることで、積極的に関われる関係性だからだと思います。

**廣内** ラジオは「みんなで放送を盛り上げたい」という共通の意識があるからだと思います。あと私たちのゼミには、『キタキター!』という北区の地域情報を発信する情報誌とホームページの制作班もあって、掲載先のお店の取材にはそのチームのみんなで行っています。

**鈴木** ひとつのものをみんなで作ることで、連帯感を高めていくのは、どんなプロジェクトでも重要です。

**石田** 2021年度は北区から大谷大学が受託した「WA(わ)のこころ」創生事業に関わる中で、北区の「WA(わ)のこころ」を表現する動画制作に取り組んでいました。



**鈴木** まさにまちの魅力発信ですね。



**石田** 僕たちは「WA(わ)のこころ」を北区のどんなところに感じるか、みんなで意見を出し合っていて、大徳寺の大規模修復工事に関わられている棟梁の方などにインタビューして動画にすることにしました。寺院には、京菓子やお茶とのつながりがあり、今後、それらも伝えられたらという思いから立てた企画です。

**鈴木** やりがいを強く感じられる取り組みですね。地域政策学コースとして、私のゼミでは、海洋プラスチックごみ問題に取り組みしていて、京都府北部の丹後半島でよくごみ拾いをしています。この問題を多くの人に知ってもらうために、よい方法はあるのでしょうか。

**石田** インタビューをして、活動を紹介します。動画制作して、いろんな人に見てほしいですね。

**廣内** ラジオだったらゲストに鈴木先生をお迎えして、いろいろ伺ってみたいです。ほかのゼミのことを知らない学生が多いので、違った目線でお話が聞けると嬉しいです。

**石田** 異なるゼミでも協力しあって、情報発信をすれば、今まで以上のことができそうですね。



## 興味があれば、きっとできる

**鈴木** 実際にゼミの活動を通して、どんな気づきや発見がありましたか。

**石田** 僕は高校時代からアプリで動画をつくっていましたが、本格的に取り組むことで、普段目にするさまざまな動画から、制作者の意図を考えられるようになりました。

**廣内** 私は高校の時に取り組んだ放課後カフェという活動で、地域の人と関わることがきっかけで、コミュニティデザイン学科に入りましたが、そもそもラジオをやったことのない初心者でした。それでも先輩たちの活動の様子を見たり、自分たちで考えたりすることで、少しずつできるようになるのがうれしかったです。

**鈴木** では、経験がない人でもやっていけるのでしょうか。

**廣内** 興味とチャレンジ精神があれば大丈夫です。私は元々ラジオ好きだったこと、地域とつながるならやってみようかなという気持ちではじめました。

**石田** 僕たちのゼミもほとんどの学生が初心者ですが、ちょっとでもやってみたいという気持ちがあればできるもので、少しでも関心があるならおすすすめです。

**鈴木** まずはやってみるといいことが何事においても大事ですからね。これからメディアで地域をどんどん盛り上げてください。



# キャンパス

Introduce Our Campus

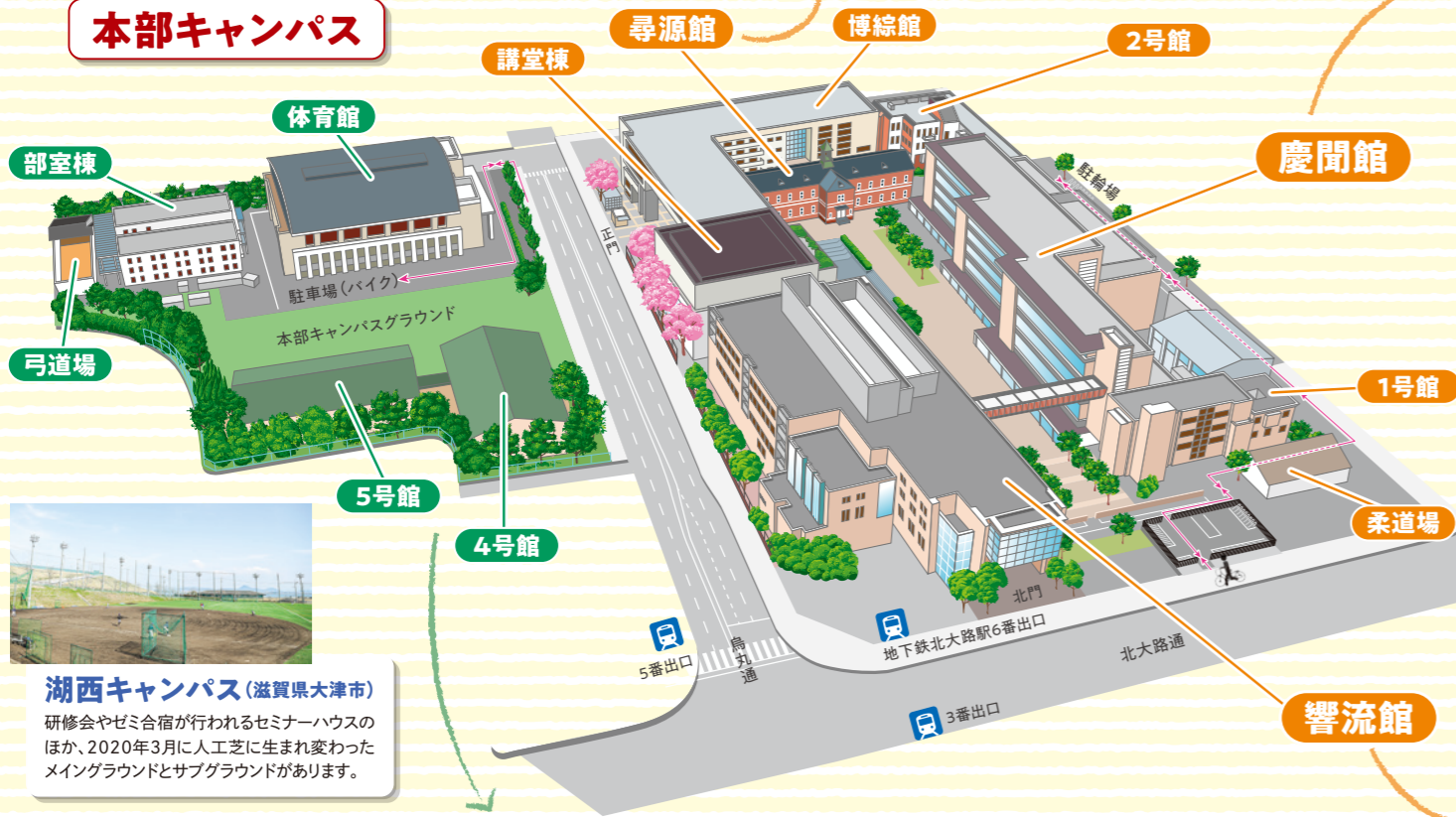
## 紹介

### 尋源館 (国・登録有形文化財)

1913年に竣工され、2023年には110周年を迎えます。赤レンガの外装が特徴の本学のシンボルです。2階の尋源講堂では、朝の勤行が行われています。



### 本部キャンパス



### 湖西キャンパス (滋賀県大津市)

研修会やゼミ合宿が行われるセミナーハウスのほか、2020年3月に人工芝に生まれ変わったメイングラウンドとサブグラウンドがあります。



### 4号館 5号館

主に教職課程に関する授業が行われます。実際の学校や園の様子がイメージしやすい模擬授業教室・多目的ルームや音楽室・図工室・理科室・ピアレッスン室などがあります。4号館1階には教職支援センターがあり、教員を志す学生の支援を行っています。

#### 1F 教職支援センター

窓口で履修相談が受けられるほか、学校ボランティアや教育実習、教員採用試験の相談などにつけてくれる頼れる教職アドバイザーが常駐しています。教員を目指す人はぜひ利用してください。



### 部室棟

部室棟には70を超える団体の部室が集まっています。

### 体育館

アリーナや剣道部、卓球部、空手道部が使用する練習室のほか、トレーニングマシンなどの設備が整ったトレーニングルームがあります。

### 講堂棟

入学式・卒業式やさまざまな宗教行事が行われる講堂や、地下1階には学内食堂があります。



### 博綜館

1階には保健室・学生相談室・人権センター、2～5階には、教員の個人研究室があります。



### 2号館

仏教教育センターや幼児教育関連の実習室がある校舎です。

### 慶間館

きょうもんかん

1階中央の学生ロビー「ミニール・プラザ」の周りには、学生支援部窓口、学習支援室、文藝塾、語学学習支援室などさまざまな学習支援施設を配置しています。3階には情報系教室、4・5階には教員の個人研究室もあります。



#### 1F 文藝塾

プロの技術を学び、文章力を鍛える“道場”で、「書く力」を養うための場です。ガラス張りのスペースには、文藝を通じた交流サロンとして、さまざまな学生が集います。



#### 1F 語学学習支援室 (GLOBAL SQUARE)

海外留学や外国語習得、海外の文化に関心のある学生や、外国人留学生在が集う場所。少人数制の外国語勉強会や交流会の開催、留学希望者へのサポートなど、きめ細かく支援します。



#### 1F 学習支援室 (LEARNING SQUARE)

基礎学力向上のための、サポートスペースです。アドバイザーの教員から外国語やレポートの作成方法について個別指導が受けられます。



#### 2F-5F マルチスペース

各フロア3カ所に設けられており、尋源館を望める場所。自主学習やグループワークなどに活用できます。



#### 2F/4F サブゼミスペース

【プロジェクター・ホワイトボード完備】だれもがここでやるプレゼンテーションやイベントに参加できるようなオープンスペースです。



#### 5F コモンスペース

【大型モニター・ホワイトボード完備】モニターを使ったディスカッションやグループワークが可能なアクティブラーニングスペースです。

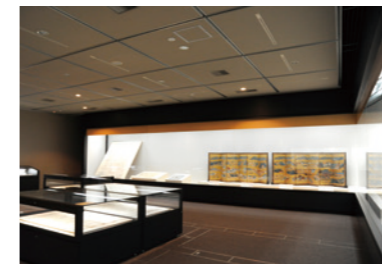


### 響流館

こうりゅうかん

#### 1F 博物館

真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学など、貴重な典籍や民俗資料など約12,000点を所蔵し、そのうち10点が国の重要文化財に指定されています。定期的に企画展や特別展を開催しています。



#### 1F-2F 図書館

蔵書数は約88万冊、1・2階の閲覧室には約15万冊の図書や資料が充実しています。2階のカウンターではノートパソコンを貸し出しているため、レポート作成や情報収集に活用することができます。



#### 3F 総合研究室

研究に必要な辞書・図書を自由に閲覧でき、ノートパソコンを借りることもできます。任期制助教が常駐し、学習や研究についての相談のったり、輪読会・勉強会を開催しています。



好きなこと、新しい可能性にとことん夢中になってみよう。



## 手芸サークル

handicraft



換気やソーシャルディスタンスの確保に加え、部員が共有して使用する備品のアルコール消毒を徹底しています。

和気あいあいとした雰囲気の中、部員それぞれが好きなものを製作します。最近では糸や布を使う装飾品よりも、ビーズやつまみ細工でアクセサリーを作る人が多いです。大学の行事である「若葉祭」や「紫明祭」でも展示や販売を行います。お客さんが自分の作品を気に入って購入してくれたときの嬉しさが、もっと上達したいという意欲に繋がっています。普段の活動でもレジン体験なども行っているの、いつでも見学・体験に来てください！



## 新聞社

News! newspaper



部内の打ち合わせは、なるべく対面で行わずLINEを活用しています。

年に6回発行する「大谷大学新聞」の目玉企画は、キャンパス周辺のグルメ探訪です。取材や原稿作成・推敲など、「人と話す」「声を聞く」「文章で表現する」経験を通して、学内外のさまざまな人たちとの繋がりができることや、コミュニケーション力・文章表現力を身につけられます。活動のモットーは、真剣に、真面目に、遊び心も！ 今後はTwitterを活用した部の広報活動も行う予定です。



仲間と日々楽しく、時には厳しく練習や筋トレに励んでいます。目標は関西学生サッカーのリーグ昇格。学生が主体となり、練習メニューや試合出場メンバーを決めているのが特徴です。1つの目標に向かって仲間たちと協力しながら練習に取り組むため、試合に勝った時の嬉しさはとても大きく、また仲間と共有できることも大きな魅力です。経験者だけでなく、初心者への入部も歓迎しています！

## サッカー部

football



更衣室での密を避け、なるべく早くグラウンドに移動することや、試合中の水分は各自で準備するなど、一人ひとりが気をつけて取り組んでいます。



ライブ活動が活発で、コロナ禍も学内の防音室にパーテーションを設置し、スタジオとして練習しています。バンドメンバーを固定化せず、イベントごとに入れ替わったり、バンドをかけ持ちできたりと、自由度の高いスタイルです。先輩や後輩関係なく、仲の良い友人関係が築けます。ステージ上で演奏し、観客が盛り上がってくれたときの嬉しさは格別！経験やジャンルは関係なく、「音楽が好き」「楽器を演奏したい」という共通の思いで楽しんでいます。

## 軽音楽部

band



学内では、パーテーションの設置や観客席のソーシャルディスタンスの確保などを徹底して、個人練習だけでなく、ライブ活動も継続できるよう徹底した対策を行っています。



サンジェイ・クマール・ヴァルマ駐日インド大使閣下(写真左)、  
ヴィヴェーク・カナンダ文化センター・シッダールト・シン所長(写真右)に  
推薦御札の表敬訪問(写真中央はダッシュ・シヨバ・ラニ仏教学科教授)

2022年1月14日(金)  
【速報】  
インド政府主催  
2021年度「仏教学振興賞」  
受賞決定

本学は、インド政府・インド文化交流評議会が2021年度に創設した「第1回Award for Promotion of Buddhist Studies (仏教学振興賞)」を受賞することが決定いたしました。この賞は、世界各国のインド大使館が仏教学推進に国際的に貢献した外国の学者・個人・団体を推薦し、インド政府が受賞者を決定するものです。駐日インド大使館が本学を日本の代表として推薦し、これまでの仏教精神に基づく教育研究機関としての活動が評価され、この度の受賞が決定いたしました。

受賞に係る詳細は次号(2022年秋冬号)に掲載予定です。

2022年度前期博物館開館予定

※詳細は本学ホームページをご覧ください。

春季企画展

2022年4月1日(金)～5月14日(土)

大谷大学のあゆみ  
清沢満之と真宗大学

夏季企画展

2022年6月7日(火)～7月30日(土)

仏教の歴史とアジアの文化(仮)

秋季企画展

2022年9月6日(火)～9月24日(土)

大谷大学博物館の逸品  
重要文化財『判比量論』  
【実習生展併催】

2022年度新入生歓迎イベント

2022年4月9日(土)

若葉祭

新入生の皆さんに4月から充実した学生生活を送ってほしいという願いを込めて、4月9日(土)に新入生歓迎実行委員会が若葉祭を企画しています。

若葉祭では講堂ステージにて課外活動団体のパフォーマンスや活動紹介を行い、教室にて課外活動団体の展示・勧誘ブースなどの企画を実施する予定です。ぜひご参加ください。

※企画は2021年12月現在のものとなります。新型コロナウイルス感染症の影響などにより変更・中止となる場合がありますので予めご了承ください。



2021年10月24日(日)  
中国語スピーチコンテストで  
本学学生が審査員特別賞・  
奨励賞を受賞

京都府日本中国友好協会が主催する「第39回全日本中国語スピーチコンテスト 第1回京都府大会」の「朗読部門」に、4名の学生が出場しました。

夏期休暇中の特別レッスンで練習を重ねて大会に臨んだ結果、審査員特別賞を塚本真央さん(仏教学科第1学年)、奨励賞を上川有由里さん(真宗学科第4学年)、東地琴音さん(文学科第3学年)、村上竜一さん(国際文化学科第2学年)が受賞しました。



新潟県知事花角英世氏(左)と木越康学長(右)

協定先一覧(締結順)

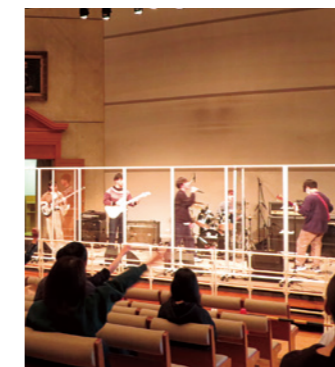
- 1 石川県 (2017年11月8日)
- 2 滋賀県 (2017年11月10日)
- 3 京都府 (2018年7月14日)
- 4 福井県 (2020年7月22日)
- 5 長野県 (2020年11月26日)
- 6 福岡県 (2020年11月30日)
- 7 岡山県 (2020年12月1日)
- 8 和歌山県 (2021年2月9日)
- 9 鹿児島県 (2021年3月19日)
- 10 兵庫県 (2021年3月26日)
- 11 新潟県 (2021年10月25日)

2021年10月25日(月)  
新潟県との就職支援に  
関する協定を締結

新潟県と就職支援に関する協定を締結しました。協定締結に伴い、新潟県から本学に進学した学生・卒業生に対して、さらに充実した支援をするための意見交換が行われました。学生と地域の双方にとって今まで以上に有益な関係が構築できることが期待されます。



谷大生応援プロジェクト2021配付の様子



音楽イベント

2021年11月13日(土)・14日(日)  
2021年度大谷大学学園祭  
「紫明祭」開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、対象者を本学学生・教職員に限定して開催しました。課外活動団体によるステージパフォーマンスや展示企画、キッチンカーによる食事提供、豪華景品が当たる大抽選会、プロタレントイベント「桐山連トークショー」などが行われました。

また、13日(土)には大谷大学同窓会・学生会が協力して実施する「谷大生応援プロジェクト2021」として、全国の同窓会支部や同窓生から支援いただいた食品を440人の学生に配付しました。

SNSでも大学の動きをチェックしよう!

Instagram Twitter Facebook Youtube

otani\_univ @otaniuniv\_staff @otaniuniversity otaniuniversity

大学Webサイトでも最新情報を更新中!

※キャンパストピックスの学年表記は2021年度のものです。

スポーツチャンバラ同好会

●第14回関西・北陸学生スポーツチャンバラ選手権大会  
(開催期間)2021.8.21～8.22

有級男子二刀 優勝  
有級基本動作 準優勝  
岩崎 誉(文学部 歴史学科第3学年)  
有級男子長剣両手 準優勝  
金太 社会学部コミュニティデザイン学科第3学年  
●第7回近畿学生スポーツチャンバラ選手権大会  
(開催期間)2021.11.14

有段女子小太刀 優勝  
有段・有級女子二刀 優勝  
有段・有級女子小太刀 優勝  
山口 悠夏(文学部 歴史学科第3学年)  
新人男子橋長剣 準優勝  
新人男子橋小太刀 優勝  
久米 佑磨(文学部 文学科第1学年)  
※学年は大会時のものです。

バドミントン部

●令和3年度関西学生バドミントン秋季リーグ戦  
(開催期間)2021.9.1～9.22

(男子)4部Bグループ1位(4部残留)  
(女子)4部Bグループ4位(4部残留)

●令和3年度京都学生バドミントンダブルス大会  
(開催期間)2021.11.21～12.5

〔優秀選手賞〕  
優勝 高嶋 春佳(社会学部コミュニティデザイン学科第4学年)  
葛畑 清香(社会学部コミュニティデザイン学科第4学年)  
3位 村田 佳奈(文学部 歴史学科第4学年)  
橋村 有美(教育学部 教育学科第3学年)

●第25回京都府オープンバドミントン団体戦大会  
(開催期間)2021.12.25

女子の部B級 3位

サッカー部

●2021年度第99回関西学生サッカーリーグ(前期)  
(開催期間)2021.4.10～8.30

4部Bブロック5位  
〔アシストラッキング〕  
3位 鈴木 颯太(文学部 国際文化学科第3学年)  
6位 齊藤 健(文学部 真宗学科第3学年)

●2021年度第99回関西学生サッカーリーグ(後期)  
(開催期間)2021.9.12～12.12

4部Aリーグ2位(3部昇格)  
〔優秀選手賞〕  
GK 河合 大輝(文学部 歴史学科第1学年)  
MF 齊藤 健(文学部 真宗学科第3学年)  
FW 山本 峻輔(社会学部 現代社会学科第3学年)

硬式野球部

●令和3年度京滋大学野球連盟 秋季リーグ戦  
(開催期間)2021.8.26～10.10

I部5位(I部残留)  
〔ベストナイン〕  
曾田 秀太(社会学部 現代社会学科第4学年)  
遠藤 宥斗(社会学部 現代社会学科第2学年)  
〔打撃10傑〕  
4位 樫本 大賀(社会学部 現代社会学科第4学年)  
8位 曾田 秀太(社会学部 現代社会学科第4学年)

2021年度 秋季大会結果(2022.2.1時点)  
CLUB INFORMATION

2022年度～2023年度キャリア支援企画 (2024年3月卒業・修了予定者)

※日程・企画は変更することがあります。

Calendar showing career support activities from March 2022 to March 2023. Includes sections for '就職支援企画' (Job Support Plan) and '授業講習等' (Lectures and Seminars). Activities include internships, seminars, and career counseling.

Table of '授業講習等' (Lectures and Seminars) including career design seminars, internship special exercises, and various certification preparation courses like TOEIC and MOS.

就職活動体験記 (Job Search Experience) by 小林 大和 (Ryoma Kobayashi), a 2022 graduate of the Community Design Department, who is now a police officer in Mizuho.

キャリアガイド

自らの人生を切り開いていけるよう、キャリアセンターを大いに活用しよう。

キャリアセンターについて

就職活動をする学生だけでなく、各学年を対象にキャリア支援企画を開催しています。新型コロナウイルス感染症防止対策として、動画配信の企画もあります。積極的に出席してください。詳細は、大谷ユニバでお知らせします。また、資格取得に向けた講習も開講しています。詳細は、「2022年度キャリア支援案内」で確認してください。

進路・就職システム 「大谷大学就職ナビ」

進路・就職システム「大谷大学就職ナビ」(進路希望登録が必要)を運用し、大学に届く求人情報や企業情報を配信しています。第1学年から利用でき、学内外のパソコンだけでなく、スマートフォンでも確認できます。

U・イーターン就職を希望する皆さんへ

自治体の担当者と直接、相談ができるU・イーターン相談会を開催します。ぜひ出席してください。また、地方の合同企業説明会などの情報は、大谷ユニバ、掲示で紹介しています。定期的を確認してください。

就職支援協定締結のお知らせ

卒業後は地元に戻って就職したい学生や、他の地域で就職を希望する学生への支援を拡大するため、大谷大学は、自治体と就職支援協定を締結しています。締結していない自治体とも連携していますので、U・イーターン就職を希望する学生は、学年を問わずキャリアセンターに相談してください。

協定先：石川県 滋賀県 京都府 福井県 長野県 福岡県 岡山県 和歌山県 鹿児島県 兵庫県 新潟県

2021年度の就職活動を振り返って

新型コロナウイルスの影響はあるものの、2020年度のように企業・事業所が採用活動

を中止や延期にすることはほとんどなく、学生にとっては、従来通りの就職活動となりました。

例年同様、2月下旬に3日間、学内に74の企業事業所を招いて開催した「業界・企業研究セミナー」では、就職活動をする企業が採用担当者から直接説明を聞く機会を作ることができました。そして、3月1日の広報開始から全国一斉に就職活動が始まり、大規模な合同企業説明会や個別の会社説明会、採用試験が実施されました。実施方法は、Webまたは対面、その割合に大差はなく、Webでの就職活動が一般的になりました。対面を重視するのは、コミュニケーション能力や意欲、Web上ではわからない態度(挨拶などのマナー)、声の大きさ、表情などを確認して、共に働く仲間にならわしい人物かを判断していることです。なお、就職活動を円滑に進めることができたのは、インターンシップに参加した学生、早期にエントリーシートを提出した学生、先述の「業界・企業研究セミナー」に参加した学生で、5月の連休明けには内定の報告がキャリアセンターに寄せられました。しかし、履歴書作成セミナーなどに出席せず、準備が不十分であった学生や、先延ばしにした学生の多くは、就職活動が長期化することとなりました。キャリアセンターでは、就職活動中の学生への支援として、5月から7月に、1日1〜2社の企業・事業所を学内に招いて企業説明会を開催しました。後期には、就職活動継続中の学生と、公務員や教員採用試験の結果により、企業・事業所への就職活動に切り替えた学生を対象に、10月から11月に1日1〜2社の企業・事業所を学内に招いて企業説明会を開催しました。12月以降は、卒業に向けての学業の状況を確保しながら支援を行い、あきらめずに就職活動をした学生は、内定を得ることができました。

第3学年の皆さんへ

就職・大学院進学など、希望進路を決めて準備をしてください。その一環として、9月に実施するGPSI Academic(問題解決能力)を受検してください。入学時からの自分の成長を確認し、進路就職活動につなげることがあります。

第2学年の皆さんへ

学生生活でできる挑戦の一つが、視野を広げるための資格取得です。取得した資格は、就職活動の履歴書でアピールすることができます。キャリアセンターでは、資格取得に向けた講習を開催し、皆さんを応援しています。また、教員や公務員採用試験に特化した講習も開講しています。ぜひ受講してください(詳細は、次ページのキャリア支援企画で確認してください)。

新入生の皆さんへ

「読む」「書く」「話す」「考える」力を身につけることを目標としてください。これらの力は、社会人として必要能力であるため、積極的に所属する学科の学びを受講してください。また、GPSI Academicの受検結果を参考に、自分を高めることを目標にすることもできます。その一つとして、資格取得(2022年度キャリア支援案内参照)にも挑戦してください。わからないことがあれば、キャリアセンターに来てください。



春の筆記試験対策講座



業界・企業研究セミナー

大学院の皆さんへ

就職や進学についての支援を行っています。相談があれば、キャリアセンターに来てください。アドバイザーとの面談を通して、進路の方向性を見出し、企業事業所から内定を得た先輩もいます。

「読む」「書く」「話す」「考える」力を身につけることを目標としてください。これらの力は、社会人として必要能力であるため、積極的に所属する学科の学びを受講してください。また、GPSI Academicの受検結果を参考に、自分を高めることを目標にすることもできます。その一つとして、資格取得(2022年度キャリア支援案内参照)にも挑戦してください。わからないことがあれば、キャリアセンターに来てください。

※大谷ユニバ「学生向け情報提供システム『OTANI UNIVERSITY UNIVERSAL PASSPORT』」の通称



大谷大学教育後援会文芸奨励賞は、学生支援事業の一環として本学の在学生を対象に文芸作品を募集し「言葉による表現意欲を奨励すること」を目的に、2006年度に創設された賞です。2021年度のテーマは「問い続けていること」。このテーマのもと、昨年より多く246編の応募がありました。

2021年は新型コロナウイルス感染症の影響によって行動自粛が求められ続けた中で、あたりまえにしていた日常生活をふりかえる作品が多くあったように思います。自粛生活の中で失われた日常生活や生活環境、人間関係等、一人ひとりの中にあるあたりまえとは何かが問われ、そのことを表現されているようでした。

また、社会の中に感じる差別的な事象に対して感じていることを表現された作品もあり、自己と社会の有り方を問い続けることで自己とは何かを思索している様子がうかがえました。

今後も自分自身の中に起こってきた問いを、問い続けていくことで、自分自身の深まりとなり、新たな世界が展かれていくことを念じています。

教育後援会会長 井上正



文芸奨励賞表彰式 2021年11月27日(土)

最優秀賞

文学部 歴史学科 第4学年 安井 沙織(ヤスイ サオリ)
一心不乱に取り組んでも確信がないと不安になる迷い選んでひた走る
答えは出すとも不安が私を強くする

優秀賞

社会学部 現代社会学科 第1学年 小野 夏実(オノ ナツミ)
「どうすれば争いはなくなるのか」
「どうすれば仲良くなれるのか」って考える方がずっといい。

国際学部 国際文化学科 第1学年 小松 日和(コマツ ヒヨリ)
人は死んだらどうなるのか。
独り考えては泣いた小学生の冬。
仏教とともに向き合う大学生の春。

佳作

大学院修士課程 真宗学専攻 第2学年 船山 祥汰(フナヤマ ショウタ)
わかりたい。
と思うほど混乱する
絡まっている紐をほどいていく姿勢で
問い続けていきたい

大学院修士課程 哲学専攻 第2学年 谷山 忠義(タニヤマ タダヨシ)
問い続ける。気づけばそのこと自体を問うていた。

文学部 歴史学科 第4学年 岡本 春奈(オカモト ハルナ)

私たちは問い続けている
私たちは問われ続けている
何故生まれてきたのか
どう生きていくのか
世界に
自分自身に

文学部 歴史学科 第4学年 澁谷 柚衣(シバタ ユイ)

「会話はお控ください」
溢れていた言葉が、途端に足りなくなった。
本当に足りないのは、言葉だろうか。

文学部 真宗学専攻 第3学年 岡本 熙子(オカモト ヒロコ)

「らしさ」って何だ
「らしさ」って何だ
女らしさ
男らしさ
らしさと自分との
狭間でもがき
自分らしく
自分って何だ

文学部 哲学科 第3学年 宗園 麻由(ソウエン マユ)

何故、地を這ってでも
生きようと足掻くのか?

文学部 哲学科 第2学年 寺田 真帆(テラタ マホ)

私は生まれ 私は死ぬ
たったこの2点の間を結ぶもの
私を私と言えるもの
知りたくて今ここにいる

文学部 真宗学専攻 第1学年 上杉 法恵(ウエスキ ノリエ)

聞くことの叶わない
あなたが望んでいたこと

文学部 真宗学専攻 第1学年 松本 彩(マツキ アヤ)

誰かを否定しなきゃ、私一人肯定できないのか。

文学部 哲学科 第1学年 鈴木 希空(スズキ ノゾ)

女性の身体で女性の服を着る。私は女性に見えるだろうか。
人から見た「私」が「私」を決定づけるのか?

文学部 文学科 第1学年 藤原 尚子(フジハラ ナオコ)

私の知識は正しいか。
私の言葉は美しいか。
私の行動は誇れるか。
この世の常識は、本当に正しいか。

教育学部 教育学科 第1学年 遠藤 愛加(エンドウ マナカ)

私は心から愛し愛される居場所を探している。
時間内なら何度ラインアウトしても戻ればいい。
日和るな自分。

教育学部 教育学科 第1学年 田代 颯(タシロ ハヤト)

生徒からこの先生の授業は楽しい ためになる
から受けたいと思われる理想の教師像を問い続けている

人事情報

執行部の交代

- 大谷大学長(第29代) 一楽 真 (任期は2026年3月31日まで)
[学監副学長] 平野 寿則
[教育学生支援担当副学長兼文学部長] 大秦 一浩

館長等の交代

- [図書館長] 中川 真二
[博物館長] 宮崎 健司
[学寮長] 新田 智通
2022年4月1日付(各通)

附属幼稚園長の交代

- [幼稚園長] 竹田 ひとみ(再任)
2022年4月1日付

定年退職

- [教育職員] 浅見 直一郎(教授/文学部)
高井 康弘(教授/社会学部)
西村 雄郎(教授/社会学部)
[事務職員] 泉 一也(教育研究支援部)
2022年3月31日付(各通)

契約期間満了による退職

- [教育職員] 滝口 直子(特別契約教授/社会学部)
原田 奈名子(特別契約教授/教育学部)
松井 玲子(特別契約教授/教育学部)
麻生 陽子(任期制講師/国際学部)
泉谷 瞬(任期制講師/文学部)
古谷 伸子(任期制講師/社会学部)
青木 佑介(任期制助教/文学部)
浦井 聡(任期制助教/文学部)
鎌田 智恵(任期制助教/文学部)
高井 龍(任期制助教/文学部)
山本 春奈(任期制助教/文学部)
[事務系嘱託] 石川 淳(教育研究支援部)
大伴 瑠弥(企画・入試部)
山下 晶江(教育研究支援部)
山本 希望(学生支援部)
[校医] 山口 智美
[寮監] 板先 唯人(貫練学寮)
[学習支援アドバイザー] 根無 一行
[PD研究員(真宗総合研究所東京分室)] 青柳 英司
鍾 宜鈴
2022年3月31日付(各通)

依願退職

- [教育職員] 山田 恵文(准教授/文学部)
2022年3月31日付
[事務系嘱託] 小林 香(学生支援部)
2021年10月31日付
竹山 佳澄(企画・入試部)
2021年12月31日付
小林 郁恵(総務部)
2022年1月31日付

新規採用

- [事務系嘱託] 掛江 美里(学生支援部)
2021年11月10日付
[教育職員] 橋口 昌治(任期制講師/社会学部)
大関 綾(任期制助教/文学部)
鈴木 真太郎(任期制助教/文学部)
平田 公威(任期制助教/文学部)
古川 拓磨(任期制助教/文学部)
増成 一倫(任期制助教/文学部)
松岡 淳爾(任期制助教/文学部)
[事務職員] 野路 愛輝(総務部付)
旭 一向(総務部付)
[事務系嘱託] 桑原 知幸子(企画入試部)
倉田 光(学生支援部)
恩庄 真理子(教育研究支援部)
野路 愛輝(総務部付)
[教授] 井上 和久(文学部)
廣川 智貴(国際学部)
藤枝 真(文学部)
三浦 誉史加(国際学部)
渡邊 拓也(社会学部)
[准教授] 上野 牧生(文学部)
大原 ゆい(社会学部)
谷 哲弥(教育学部)
2022年4月1日付(各通)

\*学生の学年は、入賞作品発表時のものです。

# 2022年度学校納付金について

**学校納付金の口座振替について**  
 本学では、学校納付金を口座振替により納入いただきます。登録いただいた口座からの振替となりますので、ご留意ください。

学校納付金は1年分を「前期」と「後期」の2回に分けて、納入していただきます。前期納付金の納入期日（振替日）は、4月26日（火）（後期は10月12日（水））です。振替日の前日までに対象の口座に入金いただきますようお願いいたします。学費納付通知書は、連帯保証人（学費負担者）宛に4月上旬「後期は9月上旬」に大学より発送しますので、ご確認ください。納入期日までに納入（振替）のない場合は、学則により除籍となりますのでご注意ください。

また、事情により期日までに納入（振替）が困難と予測される場合には、学生支援課において学費延納の手続きを4月15日（金）「後期は9月30日（金）」までに行ってください。学費延納の手続きには、「学費延納許可願」（所定用紙）の提出が必要となります。ご注意ください。

## 学校納付金はこんなことに使われています。

【授業料】大学において最も重要な事業です。2021年度開設の国際学部をはじめとした複数学部体制のもとで、学びの

実現に向けた授業を展開しています。【学習支援室 (LEARNING SQUARE)】リメディアル教育に主眼を置き、3名の学習支援アドバイザーが常駐し、基礎英語や初級外国語、レポート作成を中心に個別指導しています。

【文藝塾】高度な読み書き能力を身につけた学生を育成するために設置しています。「文藝塾講義」「文藝塾実践演習」などの文藝塾関連科目を中心に授業としての活用、また、課外活動や読書会等を実施しています。

【教職支援センター】履修相談や実習などの事務手続きはもとより、教職アドバイザーによる教員採用試験をはじめとした各種相談への対応、学校ボランティアの紹介、地域連携企画・運営など、教職課程に関わる支援を行っています。

【地域連携室 (コミュニティラボ)】各種地域連携プロジェクトに参加する学生を対象に、さまざまな活動への支援や外部の団体との出会い、対話を通して、社会を生きるためのあらゆる力を養うための支援などを行っています。

【語学学習支援室 (GLOBAL SQUARE)】学生の海外留学や外国語学習を支援しているほか、国際交流の拠点として留学生との交流企画などを開催し、異文化への理解を深める機会を設けています。

【施設費】本部キャンパス・湖西キャンパスの各施設の維持管理を行っています。無線LAN整備等の学習面および新型コロナウイルス

感染症対策の施設面に関する環境整備を進め、教育研究の充実をはかっています。

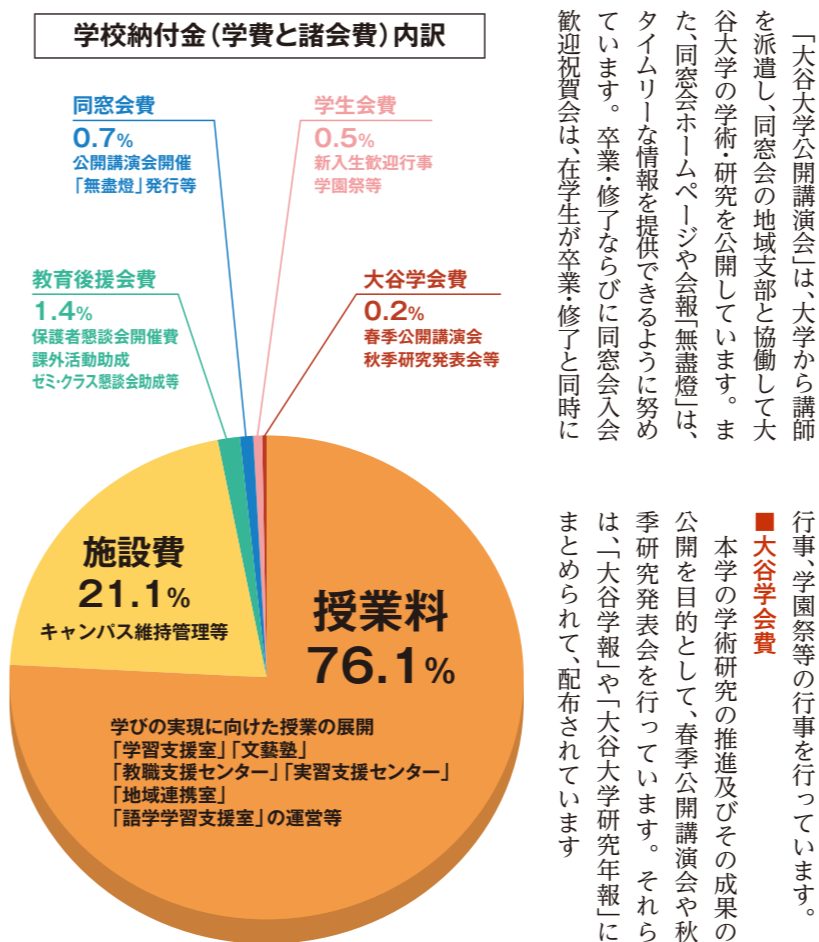
同窓会に入会し、卒業後も永く大学との関係を保ち、相互の理解を深めてもらうために、お祝いと同窓会入会歓迎を兼ねて催すものです。同窓会費（終身会費）は、原則として、最終学年の後期に徴収しています。

【教育後援会費】全国各地で開催される保護者懇談会などの事業経費のほか、学生会やクラブ、学園祭等の課外活動を助成しています。また、ゼミ・クラス懇談会への助成、学内食堂やグラウンド運行バスの助成、学生総会保障制度や賠償責任保険への加入助成、勤労学生表彰奨学金、文芸奨励金等、さまざまな助成を行っています。

【学生会費】学生相互の自治に基づき学生生活全般の発展向上を目的として組織され、学生全員が構成員となります。学生会を基盤として、各課外活動団体が組織運営されています。また、学生会員の日常生活の安定を図るための諸事業や、新入生歓迎行事、学園祭等の行事を行っています。

【同窓会費】「大谷大学公開講演会」は、大学から講師を派遣し、同窓会の地域支部と協働して大谷大学の学術・研究を公開しています。また、同窓会ホームページや会報「無盡燈」は、タイムリーな情報を提供できるように努めています。卒業・修了ならびに同窓会入会歓迎祝賀会は、在学生が卒業・修了と同時に

同窓会に入会し、卒業後も永く大学との関係を保ち、相互の理解を深めてもらうために、お祝いと同窓会入会歓迎を兼ねて催すものです。同窓会費（終身会費）は、原則として、最終学年の後期に徴収しています。



# 教育後援会だより

## 2021年度教育後援会事業について(報告)

【全国保護者懇談会】開催  
 2021年9月18日(土)、本学を会場に「全国保護者懇談会」が開催されました。今年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前と午後の2部制にて開催し、148名が出席されました。また当日のご出席が難しい保護者の皆様に対しましては、同日に指導教員との電話相談での対応も行い、15名が相談されました。

2021年度開催状況  
**学生支援説明会**  
 \*井上 正教育後援会会長(保護者代表)の開会挨拶の後、木越学長および平野教育・学生支援担当副学長から、コロナ禍における大学の現状が報告されました。また、学生支援部職員からは、履修状況の確認方法や、奨学金制度などの学生生活のサポート体制、さらに近年の就職状況の傾向や支援体制についての説明が行われました。

**教員との個別相談**  
 \*学生の授業中の様子や履修状況など、学生生活のご不明な点について指導教員との個別相談が行われました。

**学生支援個別相談**  
 \*単位の取得状況や奨学金手続き、就職活動などについて個別の相談が行われました。

## 2022年度保護者懇談会開催について(お知らせ)

2022年度は左記のとおり保護者懇談会を開催する予定です。なお、全国保護者懇談会は、学生指導上、「履修単位通知書」の配付時期や、聴講登録修正期間等の学年層に鑑み、決定しております。是非、ご出席くださいますようお願いいたします。



## 2022年度(開催予定)保護者懇談会 大谷大学フェア

- \*全国保護者懇談会  
2022年9月17日(土)  
場所:大谷大学
  - \*東北・関東地区保護者懇談会 / 大谷大学フェア(東北)
  - \*東海地区保護者懇談会 / 大谷大学フェア(東海)
- 開催日・場所 <検討中>

\*開催日・場所などの詳細につきましては、改めて本学ホームページにてお知らせいたします。  
 \*新型コロナウイルス感染状況等により、中止または延期となる場合があります。  
 [大谷大学フェア]  
 本学の教育内容を広く社会に発信すべく、一般公開のシンポジウムを開催いたします。また、高校生・社会人対象の進学相談会も同日開催いたします。  
 [地区保護者懇談会]  
 該当地区在住の保証人へご案内いたします。

## 教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互ならびに会員と大学との交流を深めることを目的に、各種の活動を行っています。毎年、役員会・評議員会を開催してさまざまな事業を企画・推進しています。

大谷大学 校友活動 行事一覧

# 教育振興資金(募金)について

2021年7月1日から2022年1月31日までの間、教育振興資金局へご寄付いただいた方々のご芳名は左記のとおりです。このたびは、募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充てられています。今後も引き続き、募金のお申し込みを受けつけておりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

**税法上の優遇措置について**  
 本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)ならびに税額控除にかる証明(税額控除制度)を受けております。寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。確定申告の際、領収書を添えて申告してください。

## 教育振興資金寄付者(敬称略)

- 【個人】
- 岩田 理恵 (三重県)
  - 寺川 大雅 (広島県)
  - 難波 明則 (大阪府)
  - 匿名 1件

◆件数 4件  
 ◆寄付金総額 3,070,000円

## こんな寄付方法もあります!

### 京都市のふるさと納税を活用した地域連携促進事業

本学では、京都市のふるさと納税を活用した地域連携促進事業を行っています。京都市にふるさと納税をする際、「寄付の使い道」の一つとして「大谷大学と協働!」を選択いただくと、返礼品(※)や税制上の優遇措置に加え、寄付金については、大谷大学と京都市で取り組む、大学・学生と地域の連携促進事業等に活用されます。詳しくは大谷大学ホームページをご確認ください。  
 ※総務省の告示により、京都市内にお住いの方には、ご寄付をいただいても返礼品を送付できません。

### OTANI古本Project -ヒロガル×ツナガル学生支援-

本学では、読み終えた本や不要になった本(DVD・CD・ゲームを含む)を、指定会社へ送ることで、古本は次の読み手へ届けられ、本の売り上げ金は、大谷大学への「寄付金」となり、大谷大学在学生在が選ぶ大学図書(学生選書プロジェクト)の本の購入費用等となる事業を行っています。古本は、郵送または大学図書館設置の回収ボックスで回収可能です。この機会に是非、「OTANI古本Project」にご参加ください。  
 ※買い取り価格は需要と供給で決まるため、寄付していただいた書籍等の状態が良くても価格がつかないこともありますので、ご了承ください。



大谷大学募金 検索

# 時代をみつめる

## はじまりの季節に

新年度の大学生活が、いよいよスタートを切りました。

この学びのはじまりの季節に「人を育てる礎」について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

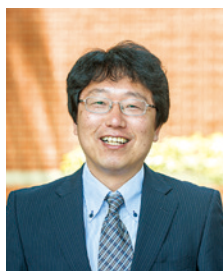
少し前のことになりましたが、昨年メジャーリーグで大活躍した大谷翔平選手のドキュメンタリーを見ました。その番組では、大谷選手に野球を最初に教えた父親と大谷少年が交換していた「野球ノート」のことが取りあげられていました。そのノートに父親が強調して書いていた三つのポイントがあります。

「一生けんめい、元気に声を出す／一生けんめい、キャッチボールをする／一生けんめい、走る」この三つは野球少年にとって特別なことではないでしょうが、父親はこれを大谷選手に徹底して伝えていました。

このことを通して父が子に教えたかったものは何だったのでしょうか。

そのドキュメンタリーで大谷選手の父親は「ヒットをうちなさい、エラーするな、ファインプレーをしなさい」ということではなく、野球に対する「姿勢そのもの」を大切にすることを語ってほしいという内容を語っ

ていました。確かに結果はその人の力を示すのに説得力をもちます。大谷選手が昨年メジャーリーグで大活躍したという結果は私たちの注意を彼に向けさせます。けれど、彼の父は、彼を単なる試合やプレーの結果によって評価しなかった。そうではなく、彼が野球とどのように向き合っているかという点で、叱りもし、褒めもした。このような関わりを通して「自らを育てる礎」を少年大谷翔平は身につけているように私には感じられました。



文学部真宗学科  
准教授  
藤元 雅文  
専門分野／真宗学

どのような状況の中でも、問い学び続ける自身の姿勢をたもち、自らを育てていくこと、これこそ大谷選手が父親からもらった贈り物だったのでしょうか。学びのはじまりの季節に、「自らを育てる礎」となるものを意識して、今年一年の大学生活を具体的に考える、そんな時間を試みてみてはどうでしょうか。

時代を照らす仏教のことば

攝取不捨の真言、  
超世希有の正法、  
聞思して  
遅慮することなかれ。

親鸞『教行信証』総序（『真宗聖典』150頁）

### 編集後記

今号では、2022年度からスタートする「情報メディアアコース」を取り上げ、さまざまなメディアを活用して、地域とつながる活動を実践する学生を取材しました。対談を通して互いのゼミの活動を知り、「一緒に活動ができればおもしろいプロジェクトができそう」と、意気投合する姿がとても印象的でした。手段は違えど、共通した目標・目的をもつ学生の生き生きとした学びの姿勢を感じてもらえる内容となっています。

（編集担当）

解説文はこちら → 大谷大学 きょうのことば 2014年11月

※本冊子には、撮影時のみマスクを外している写真が含まれます。